高生の丘

北九州市立高生中学校
学校通信　ふれあい合宿号　No.４
発行責任者　校長　寺田　訓康
ＴＥＬ　８８１－３２７６
平成２９年５月２９日発行

■ 友だちの良い面を見つけたふれあい合宿

《新しい高生中が見えました。》

中学校生活にも慣れてきた５月 19 日（木）～21 日（日）にかけて、１年生は、小倉南区の「かぐめよし少年自然の家」にふれあい合宿に、「絆～自然から学びながら　団体行動を意識して　友情を深めよう～」のスローガンの下、実行委員長の山下さんを先頭に出かけました。

かぐめ探検ウオークの様子です

１日目は、昼食後「かぐめダム探検ウオーク」に出かけました。これは、鱒淵ダム周辺を友だちと一緒に散策し、自然と友だちのよさを見つけようというものです。そして、夕食後は、普段はいえない家族の方への思いを手紙にしました。（もう届いて、読んで頂けましたか？）お家の方と離れて眠れない人もいたのではないでしょうか？

翌日は、メインの福智山登山です。３日間とも天気に恵まれましたが、逆に熱射病が心配になりました。川沿いを通って山頂を目指しましたが、予想通り暑すぎて、ペースを遅くしたために、残念ながら頂上を制覇することはできませんでした。しかし、回りの友だちを気遣いながら登る姿や、所員の方の指示に従って通ってはいけないところを避けて通る姿に１年生の良さを見ることができました。夕食後は、キャンドルの集いです。女神の山下さんから、火の守に神聖な火が渡るとき全員の目が火に釘付けになっていました。また、２部の学級対抗校歌コンテストでは、３クラスともそれぞれの工夫を凝らし、明るく校歌を披露してくれました。１年生の力を、校歌にあるように高生中学が、「友あり、師あり、まことあり」「若き生命をたぎらせる」「気高く生きん、たくましく」となるように、力を貸しもらいたいと思いました。

その後の、集団行動は、全員がキビキビして、高校の研修を思い出させる雰囲気が感じられました。2，3 年生とは、違った雰囲気が醸し出され、新しい高生中学校の魅力が生まれる気配が感じられました。

１年生の皆さんは、挨拶も素晴らしく、大変元気よく行動できました。きっと、友だちや自然のすばらしさだけでなく、家族や自分の良さにも気づいてくれたと思います。

自分や私たちの周りの人々の良さに気づき、お互いを大切にできることは、素晴らしい集団への第一歩となります。１年生の皆さんは、今回の「ふれあい合宿」を機会に、自分や１年生全体に自信や誇りを持ち、これからの学校生活を送ってください。2，3 年生の皆さんも１年生のころの「ふれあい合宿」を思い出して、新たな気持ちで頑張りましょう。

■ 質問教室を利用してください。

３年生の様子

2，3 年生は、中間考査を控えた５月 17 日（水）の放課後に、質問教室を実施しました。2 年生は、基本的な問題を全員で解き、3 年生は、自分で勉強しているときに疑問に思った点や勉強のやり方を尋ねにきてくれました。先生方も、忙しい中（家庭科や体育・音楽・美術など中間考査には無い科目の先生も）駆けつけてくれました。本当は、皆さんが聞きたいときにいつでも質問に来てほしいのですが、会議や出張などのために、十分に皆さんの質問に応えられないと、多くの先生が残念に思っています。また、生徒の皆さんも、毎日の家庭学習の中で、「どうすればいいんだろう？」と、悩んだことも少なくないと思います。期末考査の前も、質問教室を実施する予定ですので、ぜひ活用してください。職員室前に、簡単な学習スペースも用意していますので、こちらも活用してくれるとうれしいです。

■ 農泊（農村民泊体験学習）に行きます。

＜働く喜びと人との付き合い方を身につけよう！＞

昨年の様子です。

２年生の皆さんは、５月 30 日（火）～6 月 1 日（木）に山口県萩市近辺に「農村民泊体験学習（以下農泊）」に出かけます。農泊となっていますが、萩市には、きれいな海もあり、漁業に従事されている方もいらっしゃいます。２～4 人のグループで、受入れ家庭の方と 2 泊 3 日間一緒に過ごします。

この期間に、昨年度体験した職場体験学習と同じように、働く喜びや意義について考えを深めてほしいと思います。お金を稼ぐことは、大変ですが、そこには、やった人でないと味わえない喜びもあります。少しでも、その喜びに触れてください。

また、見知らぬ方や友だちと 3 日間過ごします。自分の家で過ごすのと違い、わがままはできません。また、お家の方なら「あれしといて」で通じることも個々では通じません。また、家族なら雑な言葉でも受け入れてくれるかもしれませんが、言い方次第で怒っているとか、文句を言っていると受け取られることもあります。快適に過ごすためには、お互いの気持ちを考えて、行動することが必要です。

先輩達は、別れのときに受入れ家庭の方と分かれたくないと涙を流す人もいました。2 年生の皆さんも、一緒に過ごすことで心が通じ合得ることを期待しています。